

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 243 号 2018. 7. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

素敵な1日♪東中野頒布会

弥生会スタッフ 江原沙貴

私は本年度より、弥生会農園スタッフをさせていただいており、6月30日(土)の東中野頒布会には、弥生会からもジャガイモを販売することになっていたため、販売の手伝いをさせていただきました。初めての販売側としての参加は学びが多く、とても貴重な経験だったと感じています。

まず今回、弥生会として販売したメークインですが、生育の状況から、頒布会に間に合うか心配していました。スタッフが各自、祈る気持ちで取り組んだ結果、なんとか収穫の日程に間に合い、販売することができました。小ぶりのジャガイモではありませんでしたが、頒布会に足を運んでくださった方々の中には、「小さいジャガイモのほうがいいね」と言って、手にとってくださいる方も。来場される方々と接することを通して、食への関心が高まっていること、それに付随して、私たちの自然農法をお知らせする役割を再認識させられました。

また、農学を専攻していた大学時代の後輩をお連れすることができ、販売されていた自然米のおにぎりや、みそ汁、ほうじ茶、プリンのおいしさに感動して、ほうじ茶を購入し、実家が長野ということで、長野県松本市のジョリフューの住所をメモして、「今度行ってみます」と、うれしそうにしていました。身近な方に自然農法を知っていただけた素敵な一日でした。



今回の頒布会で、生産者の方々の信念、また、ご自身の販売する作物だけでなく、他の生産者が販売する野菜についても細かく説明され、「自然農法の作物を多くの方々に食べてほしい」という真摯な姿勢に胸を打たれました。

そして、「体調が悪いときでも、自然米で作ったおにぎりは食べられる」とおっしゃる方や、「ほうじ茶の味が市販のものとは比べものにならない」と感嘆する方々の様子を見て、健康も食の楽しみも備える自然農法の作物は貴重だと改めて思いました。

これらを胸に、より一層の気持ちをもって、自然農法活動に取り組んでいきます。

おかげさま！各地の田んぼ報告

TOREK 自然農法普及員 野中康次

今年もおかげさまで、TOREK 自然農法普及員として、多くの圃場見学、体験学習、田植えや除草のお手伝いに行かせていただいています。

主な稲作生産者は、宮城、長野、福井、石川、千葉、静岡、熊本等です。「春からの季節の変化が早い」と、多くの地域から声を頂いています。秋までハラハラが続きそうです。

石川の山下さんは、今年自然農法の田を1枚増やしています。その地域の水路の水をとることができるかが、一番の悩みとのことで、試行錯誤していました。

福井のコスモファームの黒田さんは、無施肥苗を作り、試験的ですが、少し販売できるくらいの田んぼを、手押し除草をやりながら、来年のことまで考えて、汗していました。

同じく福井は、池田町の富田さん、トラブル続きの様子で、田植えが遅れて、私のほうがハラハラしています。



栃木の五十嵐さんは、年々すごいんです。今年、「見に来ませんか」とお誘いいただき、7月17日に訪問いたしました。隣の慣行農法の田に色が追いついた過去初の出来事です。たしかに丈は少し短いものの、分けつ、葉色、除草は、現段階、過去最高です。(マットでプール)苗から今年は素晴らしかったですが、田植えしても活着良く、手押し除草は8回入るも、手除草するのが本当に楽だった、条間に入ると根がしっかり張っていて、「今年の除草は楽でした」との話も伺えました。しかし、刈り取るまで分かりません。順調に行くように、気を張っていました。

7月19日、きじま平の堀さんの田に、草取り体験学習に行きました。少数で少時間でも受け入れていただき、ありがとうございました。初参加の「子を持つ若いお母さん」が参加しました。購入したお米の生産実体験に、喜びと苦勞と感謝があったようでした。生産者の堀さんも「新たな方が興味を持ち、足を運び、体験してもらえたことは、こちらを力に頂ける」との言葉に、私もジーンとききました。

今年、自然農法生産者数名からは、肥料、農薬、除草剤は「麻薬」という表現の話を耳にしました。生産する上では、管理が楽なので、やめられないのでしょうか。けれども、「みんなが食べる」ことを考えれば、使えません、という表現でした。心ある生産者の皆さんに只々感謝が湧いてきました。

今年も、より向上した自然農法の生産者や生産量も増えていきます。私たち消費者も「自然農法」実食と、機会あれば体験や見学など足を運び、無施肥無農薬のお知らせの努力をして、正しく自然農法を広めて、生産、流通、消費の輪をさらに大きく作り出していきたいと思えます。



6月20日 きじま平体験学習

細胞が生きかえる作物！

東京都 残間葉子



数年前、体の調子が悪く、買いものに行っても、見るもの全て気分が悪くなり、「食べられるものはあるのだろうか」と、そこまで弱っていたとき、無施肥無農薬栽培の食べものであれば、不思議なほど気分も悪くならず、胃に収まりました。

自然農法の野菜を切った瞬間、聞こえてくる力強い音、弾ける香りに、五感から元気をもらい、その野菜を口に運ぶたび、体の隅々まで沁み渡り、「細胞が生きかえる」のを実感しました。おかげさまで、体調も段々と良くなり、無施肥無農薬の作物に生かされたのだと感謝しております。

現在も日々、無施肥無農薬の作物を頂き、元気にさせていただいております。生産者の皆様、ありがとうございます。

お知らせ

★ 自然農法農産展 8月3日(金) 販売 / 8月19日(日) 展示

食のあふれている今、人を生かす生命力ある食べ物は一体どれほどあるのでしょうか。「本物を食べる。作る。考える。未来につなげよう！TOREK 自然農法」をスローガンに取り組んでいます。目で見ただけでなく、舌や鼻で、本物の作物を感じてください。(販売予定はチラシをご覧ください)

★ 自然農法頒布会 8月26日(日) 三咲会場 10:00~14:00

★ 自然農法頒布会 8月27日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00

★ 自然農法勉強会 8月29日(水) 午前の部 10:30~/午後の部 19:00~ (別院講堂)



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>